

令和2年度 一般会計補正予算

1,769万5千円を増額

総額 110億6,452万1千円

一般会計補正予算の主なものは、令和2年度のふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の大幅な増収（1億9千万円増額）に伴う手数料や基金への積立てなどを増額し、各種事業の実績見込み等による不用額を減額したことによる差額1,769万円の増となった。

■歳出で増額された主なもの

歳出予算項目	増額となった経費など	金 額
総務費	ふるさと応援寄附金受付等手数料	5,250万円
	ふるさと応援寄附金基金積立金	9,500万円
農林水産業費	防災重点ため池ハザードマップ作成委託料	6,500万円
土木費	道路舗装修繕工事費など	5,300万円

* 令和2年度のふるさと応援寄附金は、約5億9千万円を見込んでいます。

■特別会計補正予算

会計名	増減額	主な理由
国民健康保険事業会計	△110万円	病院事業会計への繰出金の減
介護保険事業会計	△5,897万9千円	介護給付費等の減
住宅用地造成事業会計	△583万1千円	宅地造成工事費の減
簡易水道事業会計	△175万円	水道台帳システム委託料の減
下水道事業会計	△326万2千円	施設管理委託料、廃棄物処理委託料の減
町立病院事業会計	578万8千円	診療材料費等の増

令和2年度は、コロナ感染拡大による介護施設等の利用控えが介護保険会計に影響した。
また、町立病院会計ではコロナ感染対策による補助金等を利用した診療材料の購入が増加した。

主な条例改正など

学校設備整備基金 条例の制定

学校跡地等の民間への譲渡に伴い、売却益の一部を基金として積み立てて、将来の学校整備に活用するため。

学校給食共同調理場 設置条例の改正

菊水地区の学校給食は3月までは仮設調理場（旧神尾小調理室）で調理していましたが、本年4月から新しい調理場（菊水中学校横）が稼働するため。
新調理場建設の総事業費は、約2億1,567万円でした。

国民健康保険税 条例の改正

国民健康保険税の算出方法を、従来の所得割40%＋資産割10%＋均等割35%＋平等割15%から資産割を廃止して、所得割を50%に変更するため。

令和3年度

当初予算

令和3年
3月

定例議会
報告

総額 121億3,648万1千円

令和3年3月議会定例会は、3月8日から15日までの8日間の会期で開催され、令和3年度予算など33議案（条例9件、令和2年度補正予算8件、令和3年度当初予算11件、財産処分2件、その他3件）、人事案件16件（人権擁護委員1、固定資産評価審査委員会委員3、農業委員11、教育委員1）が、それぞれ可決、同意された。

旧神尾小学校跡の土地・建物を民間事業者に譲渡する財産処分議案では、反対2名・賛成4名が討論を交わし、賛成多数で可決された。

一般会計当初予算の歳入では、新型コロナウイルス感染の拡大により町民（国民）の収入減や消費減退等により、町税、地方消費税交付金が減少し、また、地方交付税は合併後16年目から算定方法が変更されることに伴い減少した。

歳出では、災害復旧費が大幅に増額（約1億4千万円増）され、また、昨年度のふるさと納税が大幅に増加したことから2億7千万円の基金積み立て、本庁舎の空調改修設計委託料や照明のLED化による執務環境の整備に約1,660万円が計上された。

また、町河川の掘削や堆積土砂の撤去に1,725万円、新型コロナウイルスワクチン接種に伴う事業費として8,152万円が計上された。

国民保険事業会計は、被保険者の減少による国保税と県交付金の減少が影響して、昨年度予算に比べて減額となった。

住宅用地造成事業会計は、造成事業等が終了したことから、昨年度予算に比べて大幅な減額となった。

特別養護老人ホーム事業会計は、特老「きくすい荘」の老朽化が著しいことから、建て替えに向けた基本設計委託料418万円が計上された。

■各会計当初予算の状況

会 計 名		当 初 予 算 額		増 減 額
		令和3年度	令和2年度	
一般会計		73億7,642万円	73億1,527万4千円	6,114万6千円
特 別 会 計	国民健康保険事業会計	13億2,922万9千円	13億8,375万2千円	△5,452万3千円
	介護保険事業会計	14億7,557万3千円	14億7,841万8千円	△284万5千円
	特別養護老人ホーム事業会計	4億9,631万4千円	4億9,677万7千円	△46万3千円
	住宅用地造成事業会計	4,197万8千円	1億6,650万8千円	△1億2,453万円
	簡易水道事業会計	6,971万1千円	7,517万8千円	△546万7千円
	下水道事業会計	8,150万4千円	7,565万6千円	584万8千円
	特定地域生活廃水処理事業会計	1億2,665万7千円	1億963万2千円	1,702万5千円
	春富財産区特別会計	20万8千円	20万8千円	0円
	後期高齢者医療事業会計	1億8,475万3千円	1億7,925万8千円	549万5千円
	町立病院事業会計	9億5,413万4千円	9億1,225万1千円	4,188万3千円
小 計		47億6,006万1千円	48億7,763万8千円	△1億1,757万7千円
合 計		121億3,648万1千円	121億9,291万2千円	△5,643万1千円

3月議会議案審議

採決結果	条例：9件 補正予算：8件 当初予算：11件 財産処分：2件 その他：3件 人事：16件 計：49件
------	--

町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第6号	条例	和水町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第7号	条例	和水町国民健康保険条例の一部改正について	〃
議案第8号	条例	和水町介護保険条例の一部改正について	〃
議案第9号	条例	和水町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例等の一部改正について	〃
議案第10号	条例	和水町学校教育施設整備基金条例の制定について	〃
議案第11号	条例	和水町学校給食共同調理場設置条例の一部改正について	〃
議案第12号	条例	和水町金栗四三の生家施設の設置及び管理に関する条例の制定について	〃
議案第13号	条例	和水町社会体育施設設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃
議案第14号	補正予算	令和2年度 和水町一般会計補正予算（第11号）	〃
議案第15号	補正予算	令和2年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第16号	補正予算	令和2年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第17号	補正予算	令和2年度 和水町住宅用地造成事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第18号	補正予算	令和2年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第19号	補正予算	令和2年度 和水町下水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第20号	補正予算	令和2年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第21号	補正予算	令和2年度 和水町病院事業会計補正予算（第5号）	〃
議案第22号	当初予算	令和3年度 和水町一般会計予算	〃
議案第23号	当初予算	令和3年度 和水町国民健康保険事業会計予算	〃
議案第24号	当初予算	令和3年度 和水町介護保険事業会計予算	〃
議案第25号	当初予算	令和3年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計予算	〃
議案第26号	当初予算	令和3年度 和水町住宅用地造成事業会計予算	〃
議案第27号	当初予算	令和3年度 和水町簡易水道事業会計予算	〃
議案第28号	当初予算	令和3年度 和水町下水道事業会計予算	〃
議案第29号	当初予算	令和3年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計予算	〃
議案第30号	当初予算	令和3年度 和水町春富財産区特別会計予算	〃
議案第31号	当初予算	令和3年度 和水町後期高齢者医療事業会計予算	〃
議案第32号	当初予算	令和3年度 和水町病院事業会計予算	〃
議案第33号	その他	南関町・和水町火葬事務の受託の廃止について	〃
議案第34号	条例	和水町斎場条例の廃止について	〃
議案第35号	その他	町道の路線認定について	〃

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第36号	その他	新町建設計画の変更について	原案可決
議案第37号	その他	財産の処分について（旧神尾小学校・土地）	〃
議案第38号	その他	財産の減額譲渡について（旧神尾小学校・建物等）	〃
議案第39号	その他	工事請負変更契約の締結について	〃
諮問第1号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案決定
同意第1号	人事	和水町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
同意第2号	人事	和水町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
同意第3号	人事	和水町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
同意第4号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第5号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第6号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第7号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第8号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第9号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第10号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第12号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第13号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第14号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第11号	人事	和水町農業委員の任命について	〃
同意第15号	人事	和水町教育委員会委員の任命について	〃

議員提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
発議第1号	その他	和水町総合グラウンド及びその周辺整備事業検討特別委員会の調査の期限を変更する決議について	可決
発議第2号	その他	和水町議会会議規則の一部改正について	〃
		閉会中の継続調査について（各委員会）	決定
		議員派遣について	〃

3月定例会

賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載

○は賛成 ×は反対 –は欠席

議 案			議員名	荒木 宏太	白木 淳	齊木 幸男	坂本 敏彦	竹下 周三	高木 洋一郎	秋丸 要一	松村 慶次	庄山 忠文	池田 龍之介	森 潤一郎	蒲池 恭一
議案第37号	その他	財産の処分について（旧神尾小学校・土地）		×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	※
議案第38号	その他	財産の減額譲渡について（旧神尾小学校・建物等）		×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	※

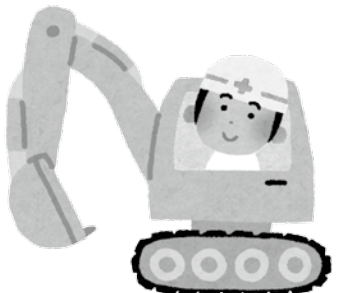
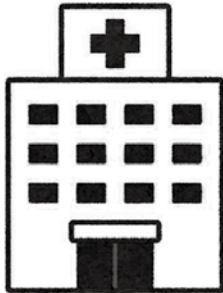
※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。

討論	議案第37号	反対：荒木議員	賛成：竹下議員、白木議員、森議員
	議案第38号	反対：荒木議員	賛成：白木議員、高木議員

令和3年度 特別会計当初予算

総 額：47億6,006万1千円

■特別会計当初予算の内訳

国民健康保険事業会計  13億2,922万9千円	介護保険事業会計  14億7,557万3千円	特別養護老人ホーム事業会計  4億9,631万4千円
住宅用地造成事業会計  4,197万8千円	簡易水道事業会計  6,971万1千円	下水道事業会計  8,150万4千円
特定地域生活廃水処理事業会計  1億2,665万7千円	春富財産区特別会計  20万8千円	後期高齢者医療事業会計  1億8,475万3千円
町立病院事業会計  9億5,413万4千円		

令和3年度 一般会計当初予算

総 額：73億7,642万円

■一般会計当初予算の歳入内訳

項 目	金 額(千円)	割合(%)	
自主財源 23億7,646万2千円 32.2%	町税	816,076	11.1%
	使用料・手数料	37,820	0.5%
	財産収入	8,799	0.1%
	寄附金	600,000	8.1%
	繰入金	737,194	10.0%
	繰越金	137,917	1.9%
	諸収入	38,656	0.5%
依存財源 49億9,995万8千円 67.8%	地方譲与税	71,417	1.0%
	地方消費税交付金	154,700	2.1%
	その他交付金	27,547	0.4%
	地方交付税	2,970,300	40.3%
	分担金・負担金	32,145	0.4%
	国庫支出金	798,704	10.8%
	県支出金	420,645	5.7%
地方債	町債	524,500	7.1%
合 計	7,376,420	100.0%	

新型コロナ禍の影響による収入減少等により、前年度比約6,300万円の減

ふるさと納税の増加を見込んで、前年比約5億円の増

財源不足を補うための基金の取崩しにより、前年比約4億4千万円の増

新型コロナの影響による消費活動減退等により、前年度比約3,000万円の減

合併16年目から算定方法が変更になること、また人口減少の影響を含め前年比約1億円の減

新型コロナワクチン接種に伴う事業や災害復旧費、道路整備費など、前年比約5,800万円の増

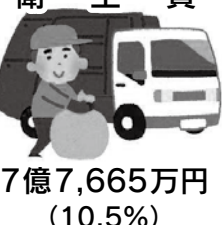
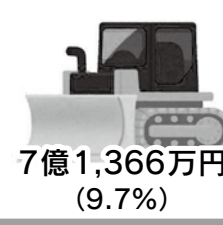
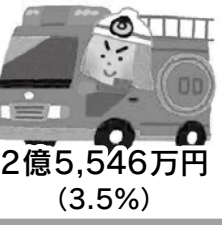
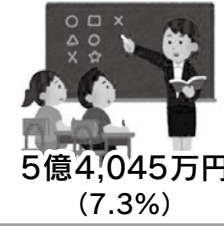
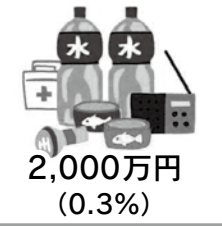
*この表の用語は、次のように定義します。

自主財源とは、町が自ら徴収又は収納できる財源

依存財源とは、国・県から交付される財源と国等から借り入れる財源

■一般会計当初予算の歳出内訳

(%は構成比を表示)

議 会 費  8,100万円 (1.1%)	総 務 費  15億6,472万円 (21.2%)	民 生 費  18億5,353万円 (25.1%)	衛 生 費  7億7,665万円 (10.5%)
農林水産業費  2億7,524万円 (3.7%)	商 工 費  1億1,398万円 (1.5%)	土 木 費  7億1,366万円 (9.7%)	消 防 費  2億5,546万円 (3.5%)
教 育 費  5億4,045万円 (7.3%)	災害復旧費  1億6,173万円 (2.2%)	公債費(借金返済)  10億2,000万円 (13.8%)	予 備 費  2,000万円 (0.3%)

厚生建設経済常任委員会

予算審査報告

委員長 坂 本 敏 彦

委員会が担当する健康福祉課、農業委員会、農林振興課、商工観光課、建設課、特別養護老人ホーム、和水町立病院に係る当初予算審査の中からいくつか紹介します。

新型コロナウイルスワクチン接種

感染者は減少したものの、長期化し、いまだ収束しない新型コロナウイルス感染症、新型コロナウイルスワクチン接種に必要な総予算8,152万円の予算が計上されています。



特別養護老人ホーム「きくすい荘」建て替え

今年6月で、開設49年をむかえ、老朽化の課題があるため、入所者の皆様の安全と、ご家族の皆様の安心のためにも、早急に新築による建て替えが必要なため、特養建設基本設計業務委託料418万円が計上されています。



防災・減災対策

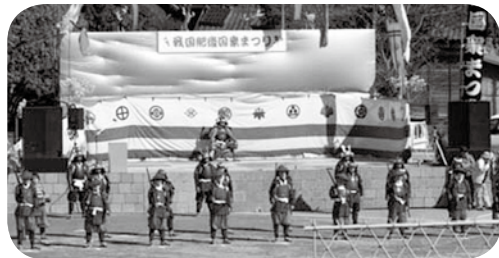
令和2年7月、豪雨により山腹崩壊など、甚大な被害が発生した三加和・西山地区に地滑り警報機観測保持業務委託料として、171.5万円が計上されています。

工事請負費の河川維持費（伐採及び掘削等）に600万円、工事請負費（河川の氾濫による浸水防止するため、堆積した土砂の撤去を行う事業）1,125万円が計上されています。



古民家修繕、PRイベント

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症によりほとんどのイベントが中止となり、現在も新型コロナウイルス感染症が収束しない中、令和3年度は、肥後民家村内の古民家修繕工事482万円、戦国肥後国衆祭りPRのための甲冑購入費用250万円が計上されています。



第8期介護保険料

令和3年度から始まる第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画並びに介護保険料の見直し作業が令和2年度に実施され、和水町においての第8期の介護保険料基準額は、第7期と同額の月額5,800円となっています。

農業の担い手

次世代を担う農業者となることを志向するものに対し、就農後の定着に農業次世代人材投資金（1～4年目＝150万円×4年、5年目＝120万円）交付することにより、就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、令和3年度から5名の新規担い手確保を目指しています。

総務・文教常任員委員会

予算審査報告

委員長 池 田 龍之介

本委員会が担当する総務課、税務住民課、まちづくり推進課、住民課、学校教育課、社会教育課に係る当初予算について審査した中から、いくつかの話題を紹介します。

ふるさと応援寄附金が大幅に増加

返礼品の種類増加に伴い、寄附金が大幅な伸びを示しています。令和3年度は昨年比約1億円の増加を見込み6億円を計上しています。

基金を約6億8千万円取り崩し

財政調整基金5億円、減債基金1億5千万円、公共施設整備基金3,620万円をそれぞれ取り崩しています。

大型事業が一段落

一昨年来の学校統合、学童施設、菊水共同調理場、総合グラウンド、せきすい斎苑改修などの大型事業が一段落しました。今後は、大型事業で増加した起債（町債）の償還（公債費）の増加が予想されます。



自主財源のうち町税、使用料・手数料、財産収入、繰越金などが減少し、また、地方交付税が合併16年目を迎え、特例算定から従来の算定方式に移行しました。

今後、自主財源、国や県に依存している財源の減額によって、財政運営が厳しさを増してくると思われます。町民の皆様にも、この状況をご認識いただきたいと思います。

全児童生徒にタブレットを配置 悩み相談ソフトの導入を促す

児童・生徒に一人1台のタブレットが配置されICT授業が本格化します。過去に「いじめによる自死」が発生しているので、心の相談員配置と合わせてタブレットを活用した「いじめ・悩み相談ソフト」導入の検討を促しました。



新交通システムの構築を促す

玉名山鹿を結ぶ下津原経由のバス路線が廃止されます。路線バスの維持には多額の補助金を支出しています。

今後は、玉名市・山鹿市との定住自立圏協定の活用を図り、新しい交通システム確立のための協議を進めるよう促しました。

水道料金の均衡負担を促す

現在、簡易水道使用料と過去に宅地造成したり公営住宅での水道使用料に格差があるので、公平性を保つために、水道料金の統一に向けた検討を促しました。

歳入財源が厳しい中に、執行部にあつては新年度予算編成に苦慮されたと思います。

今後は益々財政状況が厳しさを増すので、優先すべき事業の精査とともに、弱者に寄り添った予算編成に心がけてもらいたいと思います。

ズバリ!聞きます 一般質問

3月定例会では8名の議員が一般質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。

秋丸 要一議員

13P

- ・最初から町営で、建て替えありきでなく、まず、民営化で建て替えを図るべし

池田 龍之介議員

14P

- ・温室効果ガスゼロを目指す地球温暖化対策は小さい単一自治体での取り組みより大きな自治体のグループを構築し取り組むべき!!

荒木 宏太議員

14P

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の検証、金栗先生の顕彰、防災施設の現状

齊木 幸男員

15P

- ・用木区「七曲がり」の道路崩壊や通行止めを解決する為に道をまっすぐにしよう県に要望しては
- ・南小跡地を過疎化解決の起爆剤に

高木 洋一郎議員

11P

- ・移住定住政策の効果は出ているか？
①新婚さん定住奨励金制度②空き家バンク制度③新規支援事業は？

竹下 周三議員

12P

- ・町長に施政はあるのか
- ・学童保育の体制は万全か
- ・三加和温泉界隈の開発について、考えはあるのか
- ・空き家対策は進んでいるのか

森 潤一郎議員

12P

- ・動き始めた「きくすい荘」特老建設について

坂本 敏彦議員

13P

- ・新型コロナウイルス感染症における農畜産物の価格低迷について
- ・「菰田橋」架け替え決定!!

* 一般質問の記事は、質問した議員が600字程度に要約したものです。原文を尊重していますが、一部編集しています。
* 発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。
* 会議録は町の公式ホームページで閲覧できます。

問 空き家バンク制度による移住定住の状況は。

答 (まちづくり推進課長) 空き家バンク制度は平成25年度から開始して、賃貸や売却の契約数は44件、世帯員数111人。うち町外から

1/3となる。

新規事業として国の結婚新生活支援事業を取り入れて、引越し費用や家賃などを上限60万円を補助する事業を計画している。国と町の費用負担は、国が2/3、町が1/3となる。

問 新婚さん定住奨励金制度の交付実績は。

答 (まちづくり推進課長) 新婚夫婦一組に対して15万円を交付する制度で、平成20年度から開始して、233組に交付している。令和元年度は10組、令和2年度は2月末現在14組に交付している。



高木洋一郎議員

移住定住政策の効果は出ているか？

①新婚さん定住奨励金制度
②空き家バンク制度
③新規支援事業は？

答 (町長) 地域から要望が無ければ、簡易水道事業には着手できない。要望があれば、加入意向調査や水源候補地等を検討する必要があると考えている。

問 三加和地域板桶地区での住宅建設や宅地開発の問題点は、飲料水である。簡易水道の敷設計画はあるか。

答 (まちづくり推進課長) 令和3年度に三加和地域中林地区に1棟設置する計画である。

問 お試し住宅の新規設置を考えているか。

答 39件、世帯員数97人が転入している。令和元年度から空き家バンク登録物件に対して、改修工事と不要物撤去に対する補助を行っており、改修6件、不要物撤去が4件の実績である。

町立病院・特別養護老人ホーム検討特別委員会報告

委員長 坂本 敏彦

本委員会は、平成31年3月18日に議会の決議を経て設置し、今後の町立病院・特別養護老人ホームの方向性について各部に分かれて検討した。

検討結果報告については、各部会ごとに報告する。

令和3年3月15日をもって、町立病院・特別養護老人ホーム検討特別委員会を解散し、今後は厚生建設経済常任委員会での対応とする。

町立病院の今後の方向性について

町立病院部会では、経営形態等について7回にわたり議論した。

町立病院は、町民の生命を守り、地域医療を担っている。

しかし、昭和23年開院当時の社会情勢、人口規模や近隣の医療環境と、現在のそれとは大きな変化が生じていること。医師の確保が困難なこと。また、将来の国の医療政策や近隣の医療機関の動向を踏まえた結果、町に対して民営化に向けて進めていただくことで意見の集約に至った。

町立病院部会長 秋丸 要一

町立病院の概要

昭和23年に公立病院として開院し、病棟は昭和60年に改築され36年が経過し、外来棟は平成11年に改築され22年が経過している。

*診療科目は、7科

外科・内科(常勤医師)、小児科・整形外科・脳神経外科(院外医師)、リハビリテーション科・放射線科(常勤技師)

*医療スタッフは、97名(非常勤18名を含む。)

医師4名、看護師、薬剤師、理学療法士、検査技師、事務職員等93名

*病床数は91床(但し、医療従事者不足等により稼働病床数は50床程度で推移)

*入院患者数は、年々減少しており、新規患者の開拓が課題

*患者の平均年齢(令和3年1月現在)は、入院患者85歳、外来患者73歳と患者の高齢化が顕著

*外来患者の地域別割合は、菊水地区84%、三加和地区8%、町外者8%

*経営状況は、過去10年間のうち7年は赤字を余儀なくされているものの、不採算地域の医療確保特別交付金が年間約2億2千万円余り交付されている。

*令和元年度の累積負債額は4億9,795万円であるが、資本残高は10億985万円余を有している。

◎課題

- ・医師確保が困難なこと」が最大の課題である。
- ・入院患者が減少傾向にある。(過去4年間で4,500人の減)
- ・国の医療政策の動向によっては、特別交付金の維持が図られるか不透明である。
- ・施設の老朽化に伴う改修や医療機器の更新等が必要となる。



特別養護老人ホーム「きくすい荘」の今後の方向性について

特別養護老人ホーム「きくすい荘」管理棟・居室棟(さくら・つつじ)は、昭和47年6月の設立から49年経過している。居室棟(もみじ)は31年が経過している。熊本地震や和木町を震源地とする地震により建物に被害を受け、補修箇所も多く有り建物や設備等の老朽化が著しく、平成29年・約900万円、平成30年・約850万円、令和元年・約700万円と町から拠出している。維持管理費は設備更新時期を迎え、今後も増加傾向にある。

経営状況は、平成26年度から一般会計からの繰り入れを行っている。平成29年度が約4,800万円、平成30年度で約2,400万円、令和元年度が約600万円であり、介護報酬の大幅な引き下げに伴い、町からの繰り入れが常態化している。その他介護福祉士等の人手不足等も考慮すると、労働環境の改善も急務である。和木町をこれまで担って来て頂いた住民とご家族様の望まれる安心安全な環境整備を図る必要がある。従って、和木町に適合する形の施設、多床室を中心にした混合型(多床60・ユニット20、合計80床の規模)で現在の用地を活用して新築建て替えが最も望ましいと結論づける。

尚、当面は和木町直営で実施して、将来的には民営化も視野に入れて検討を進めて頂きたい。

部会長 竹下 周三



*部会員…坂本、蒲池、庄山、松村、荒木



竹下 周三 議員

- 町長に施政はあるのか。
- 学童保育の体制は万全か。
- 三加和温泉界隈の開発について、考えはあるのか。
- 空き家対策は進んでいるのか。

問 我々に残された時間は長く無い。町長の施政を問う。又、長期的展望と今成すべき事を問う。

答 (町長) 基幹産業である農業の振興に力を入れる。

問 残された1年、どの様に進めるのか伺いたい。

答 (町長) 人口減少にストップをかけた。まずは教育。農政、教育、住み良い町、子ども達の声の聞こえる町にしたい。

提言 施政とは政治。政治とは社会の対立、利害関係を調整して社会の意思決定をし、これを実現することだ。従って、それは施政とは言わない。単なる思いだ。町長としての施政を伺いたかった。

問 現在の学童保育の体制は万全か。

答 (町長) 菊水地区は1カ所に集約されて、良好に進んでいる。三加和地区は、それぞれ差がある。関係者との検討の上、格差是正を

しっかり図っていく。

問 移住定住に向けた今後の対策の中で、旧神尾小学校工場誘致の問題に関連して、三加和温泉界隈「ふれあいの森」を含めた神尾地域の開発の考えはあるか。

答 (町長) 温泉を中心として、レジャー施設・リゾート施設・保養施設・トレイルラン開発等、町有地20ヘクタールを有効に活用したい思いはあるが、まず仕事場となりうる企業の誘致を着実なものにしたい。

問 空き家対策は進んでいるか。

答 (まちづくり推進課長) ロマン館駐車場に移住定住センターを設置予定。地域おこし協力隊他、3名体制で事業を進める。

提言 古民家有効活用は、行政で行うのは限界がある。NPO法人等、民間の事業者の力を借りる事も検討してはどうか。



坂本 敏彦 議員

- 新型コロナウイルス感染症における農畜産物の価格低迷について
- 「菰田橋」架け替え決定!!

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金3次による農業対策についての取り組みを問う。

答 (町長) 農業関係も大変なダメージを受けており、何らかの支援策が必要じゃないかという提案かと察した。

農畜産物の大幅な下落で生産農家は、大変苦しんでおられる。第3次対策で、しっかりと支えていくように、私も集中的に対応していくように考える。

問 菊水地区と三加和地区を結ぶ重要な橋「菰田橋」架け替えの現在の進捗状況と今後の計画について問う。

答 (町長) コロナ禍の影響により、全体説明会ができない状況下、下津原各区分長、菰田地区民の皆様には説明を行い、概略設計の了解をいただいている。

今後の計画では、菰田橋は県道玉名立花線、竈門菰田山鹿線の重要な橋となっているので、国土交



現在の菰田橋

通省九州整備局、熊本県により実施計画を進めていただいている。今度架かる橋は、現在の橋より100mほど下流に計画されている。橋の長さ190m、幅員10・5m、片側歩道2・5mで整備され、内藤橋(菊水地区)クラスになると思う。

答 (建設課長) 概略設計終了後は、関係行政区分長、役員の皆様に概略設計の説明を行い、今後、国、県により実施設計に入られると聞いている。



森 潤一郎 議員

- 動き始めた「きくすい荘」特老建設について

問 きくすい荘整備方針について聞く。

総事業費18億3,586万円の内容予算となっている。施設の現状や整備方針を聞く。

答 (町長) きくすい荘は、施設の老朽化、耐震問題など利用者の安全、安心に維持管理の面で多く課題があり、これらのことへの対応が待ったなしの状況にある。総事業費の内容と根拠について、定員は現在の110名を80名とし、シヨートステイを現在の10名を6名に、デイサービスについては現在30名を20名に変更したい。事業費については、建設工事費を約16億円、備品購入や解体費などで約2億3,000万ほど見込んでいる。

問 事業費財源の見込みはどうか

つているのか。

答 (町長) 特老建設整備基金を基に、介護サービス事業債、過疎債、合併特例債などの起債、さらには国等の補助金、ふるさと納税などを想定している。

問 収支の見通しについて約1,400万の黒字計画となっている。その根拠を問う。

答 (町長) 歳入については、特養、シヨートステイ、デイサービスの利用料金等の収入総額3億6,700万円、歳出について介護士などの人件費や社会保険料、給食業務委託料、その他需要費などの運営費を合わせて総額約3億5,300万円で差額の1,400万円となる。



秋丸 要一 議員

- 最初から町営で、建て替えありきでなく
- まず、民営化で
- 建て替えを図るべし。

問 町立病院、きくすい荘の今後の方向性について

答 (町長) きくすい荘については、きくすい荘施設整備等検討委員会に諮問され、平成29年3月に答申がされ公設公営化を決定したところである。

問 全然私が聞いた答弁と違う。きくすい荘については、個人的には存続すべきだと思うが、どのような形態で存続すべきか

答 (町長) きくすい荘については、きくすい荘施設整備等検討委員会に諮問され、平成29年3月に答申がされ公設公営化を決定したところである。

問題であり、以前にも民営化の話はあったと思うが、誘致努力不足で最初から町営で、建て替えありきの発想で進めるのはいかがなものかと思う。今一度考え直す気はないか。

答 (町長) 今の計画を推進している。

問 町立病院については、近い将来、病棟の建て替え等には莫大な設備費用がいる。最大の課題は医師の確保だ。今後財政的に持ちこたえられるのか。果たしてこの先、医師の確保を続けることができるのか。

答 (町長) 経済的合理性だけでは追及できない部分を担うのが町の役割で、それが我々の務めだ。

提言 私は病院の担う役割を否定していない。しかし、今後10年位は大丈夫。じゃあその先はどうするのか。きれいな事ではすまされない。財政なしで存続なし。その所をもっと考え、検討して欲しい。



池田龍之介 議員

**温室効果ガスゼロを目指す
地球温暖化対策は
小さい単一自治体での取り組みより
大きな自治体のグループを
構築し取り組むべき**

問 定住自立圏より有利な財政補助がある中核都市圏構想に何故参入していないのか。

答 (町長) 構成条件に、通勤通学率10%があり、設立時の国勢調査指数によると、7.9%となっており、連携構想される市町村に該当しないので、参入していない。

問 過去は、そうだったかもしれないが、現状は熊本市内の私立高特進等を目指している生徒が増えているので、10%は超えているのではないかと思われる。昨年国勢調査があったので、結果を踏まえて超えていたとするならば、すぐにでも参入を申し出て貰いたい。また、世界が取り組んでいる『温室効果ガスゼロ』に向け、熊本市中核都市圏の18市町村が協定を締結し、2050年ゼロを宣言、目

標等の計画を策定し、取り組んでいる。これは、熊本市中核都市圏構想とは別に取り組んでいる。

熊本市が推し進めている『ゼロカーボンシティ』だけでなく、小さな自治体で取り組むよりも、大きなグループを構築し取り組んだ方が効率的にも、費用対効果的にも、総合的判断をすれば有利であると思われるので、参入について精査される事を望む。

答 (町長) 世界中がゼロカーボンを目指して、日本も総理を先頭に民産学官で取り組まなければならないと認識をしている。簡単にはいかないと思うが、担当課を中心にいろいろ勉強をして、補助金等があれば活用しながら取り組みたい。貴重な提案を頂いたため、研究しながら検討をしたい。



齊木 幸男 議員

**●用木区「七曲がり」の道路崩壊や通行止めを解決する為に道をまつづくにするよう県に要望しては。
●南小跡地を過疎化解決の起爆剤に。**

問 用木区を通る県道と仁菊水線「七曲がり」の災害復旧は。

答 (町長) 4月に復旧工事を開始し6月末で復旧完了の見込み。

問 江田高野線の開通予定は。

答 (町長) 令和3年度末が災害復旧優先の為に令和4年度末に。

問 令和2年度ふるさと納税は5億9千万円。町内返礼品生産者には1億7千7百万円、町の財源には2億9千5百万円。そして、昨年の豪雨災害には446万8千円の寄付がふるさと納税で集まった。令和3年度は目標額は6億円だ。町職員一丸となって取り組むプロジェクトチームを作つてはどうか。

答 (町長) 担当課だけにまかせるのではなく全課横断的に情報を集め研究して行くことは大事。

問 給食費の段階的無償化は公約だ。令和2年度の出生数は39名、本年は現在47名。町内の新型コロナウィルスで経済的に影響を受ける子育て世代を効果的に支援する施策としても非常にあつている。

答 (町長) 決断すべき時は、すべてと考えている。

問 菊水中学校横の学校給食菊水調理場は菊水区域学校統廃合事業で建設する最後の建物だ。事業は終結を迎えるが今の気持ちは。

答 (町長) 多くの方々の努力と協力で出来上がった。感謝したい。

問 南小の住民説明会では、地域の活性化や雇用の創出を企業に丸投げするのではなく、住民と企業、そして行政、この三者がよく話し合い、連携して発展させていくことがわかる説明にしてもらいたい。

答 (町長) 誠意ある対応を取り、説明したい。



荒木 宏太 議員

**新型コロナウイルス感染症対応地
方創生臨時交付金の検証、
金栗先生の顕彰、防災施設の現状**

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は1次で8,785万円、2次で2億8,543万円の交付がされている。アンケート等を実施して効果の検証や、町民の満足度の検証はできているか。

答 (まちづくり推進課長) 具体的にアンケート等の実施はしていない。第一次分については感染防止で18%、医療体制の整備で10%、地域経済の支援で70%という金額ベースでの検証をしている。

答 (健康福祉課長) 子育て応援給付金の通知の際にアンケートをとる。629通のうち565通の回答があった。給付金の使用目的についての問いに、生活必需品29%、学費27%、貯蓄19%、食費11%、各種支払い7%、娯楽3%という結果だった。

問 金栗顕彰の取り組みについて、新グラウンドの新名称の設定やセ

レモニーは実施するか？

答 (社会教育課長) 現時点において総合グラウンドの名称変更は考えていない。利用促進を図る意味からも親しみやすい名称を今後検討していきたい。セレモニーについてはグラウンド完成と供用開始を祝い町内外に広くPRするため計画を進めている。

問 今後の町の防災施設についてどう考えているか？

答 (町長) 使われなくなった学校跡地の活用が進み、企業に譲渡が進んでいる。これと併せて各小学校の体育館は避難所としていたので譲渡により避難所が少なくなっている。町はこの状況から代替の施設等について検討している。

答 (総務課長) 旧神尾小、旧東小体育館の代替施設として和水平福社センターと和水平町体育館へ分散避難、旧南小の代替施設として菊水小学校体育館を考えている。

和水町総合グラウンド オープニングセレモニーがおこなわれました

4月3日(土)

式典後にはオープニングイベントとして、第一グラウンド全面を使った、陸上、野球、グラウンドゴルフの試合が開催され、多くの参加者が汗を流し、コミュニティを深めておられました。

今後も町内の方はもちろん、多くの方々に利用していただけると幸いです。

和水町総合グラウンド整備事業検討特別委員会 委員長 荒木 宏太

